

米粉の利用促進、茨城県産農産物のPR 情報発信

茨城県産米を使用した米粉パンや茨城食材を使ったパンの魅力を継続的に発信。
フジパン株式会社において令和5年7月から商品化し、製造・販売。

○ 施策分類

米政策、地域作物

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和5年7月から、フジパン株式会社の下妻工場の稼働に伴い、茨城県産の米粉を使用したパンの製造が始まった。当拠点では、このことに着目し、茨城県産米粉を使用した米粉パンや茨城食材を使ったパンの魅力を、関係機関と連携して発信することとした。

○ 取組の内容

茨城県産米粉や地域食材を使用した情報発信を模索するフジパンに対し、JA茨城県中央会の情報発信室「クオリテLab」との連携を、当拠点から提案。令和5年9月に、両社が意見交換する場を当拠点が設置。意見交換では、米粉パンと茨城県食材を使ったサンドイッチ教室の開催などのアイデアが出され、茨城県産農産物の知名度向上のために連携を強化することで合意。今後両社は、米粉パンの新しい食べ方等について情報発信を行っていくこととなった。

○ 効果・成果、今後の方向性

農水省の米粉推進とタイミングがマッチし、茨城県の推す「茨城をたべよう」の取組も含め、関係機関と連携して取組が拡大。

今後、「クオリテLab」にて合同PRイベントを開催することとなり、当拠点としてもHPへの掲載などを通じて周知に協力する予定。今後も両社の活動をフォローするとともに、茨城県産農産物のPRに向けた異業種間連携を積極的に推進したい。また、今回の経験を活かし、県拠点の強みである現場・生産者等とユーザーニーズを結び付ける取組なども積極的に行っていく。



フジパンとの打ち合わせの様子
(県拠点別館3階大会議室)

(写真: 令和5年9月12日)



JA茨城県中央会での意見交換の様子
(情報発信拠点「クオリテLab」)

(写真: 令和5年9月12日)

体制図

